



ぜひご家庭でもお読みください



## 地球から ポイ捨てゴミが なくなる日まで

- ソーシャルトレンド  
ゴミを拾うのが楽しくなる!  
魔法!?のアプリ「ピリカ」
- ゆめ・まちU-30  
海辺の清掃ボランティア
- グループ従業員の  
ボランティア活動レポート
- 阪急阪神  
未来のゆめ・まち基金  
助成対象団体レポート

ソーシャルグッズ  
読者プレゼント



## こちら事務局

### 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第7回助成先

皆さまの基金に会社が同額を上乗せして、市民団体を助成するゆめ・まち基金。2015年度は84団体から申請があり、書類選考・基金参加者アンケートの結果をふまえ、本選考会で助成先となる14団体を決定しました。

- |         |  |
|---------|--|
| 地域環境づくり | ① NPO法人 芥川倶楽部 アユをシンボルとした豊かな川づくり            |
|         | ② 大山崎ふるさとガイドの会 地域の魅力を伝え、広めるボランティアガイド       |
|         | ③ (特非)花と緑のネットワークとよなか 資源循環たい肥を活用した環境活動      |
|         | ④ NPO法人 みのお山麓保全委員会 箕面の山麓を守り育てるため保全・活用施策を展開 |
|         | ⑤ 武庫川がっこう 武庫川の保全・活用・情報発信                   |
| 次世代の育成  | ⑥ (特非)あつとすくーる ひとり親家庭の子ども達も通いやすい学習塾の運営      |
|         | ⑦ (特非)NPOクワガタ探検隊 子ども達が昆虫や自然と触れ合うきっかけづくり    |
|         | ⑧ こらぼれチップス 親子の居場所づくりと、子ども達に寄り添う電話相談        |
|         | ⑨ (特非)支援機器普及促進協会 障がいのある子ども達の自己表現を情報機器で支援   |
|         | ⑩ (特非)児童虐待防止協会 児童虐待防止のための啓発と、親と子と関係者への支援   |
|         | ⑪ (特非)多文化共生センター大阪 外国にルーツを持つ子ども達の学習支援       |
|         | ⑫ (特非)日本クリニックラウン協会 入院中の子ども達に笑顔を届ける臨床道化師    |
|         | ⑬ 認定NPO法人 箕面こどもの森学園 主体性・自律性を育てるオルタナティブスクール |
|         | ⑭ ワールドキッズコミュニティ 外国にルーツを持つ子ども達の居場所づくり       |
- ※「特非」は「特定非営利活動法人」を指します。

### ポイントがつなく社会貢献の輪:「社会貢献ポイント制度」

グループ従業員やOBの皆さまの、地域・社会への貢献活動を応援する「社会貢献ポイント制度」。2015年もたくさんのご申請をいただきありがとうございました!

- 参加会社 **68**社(前年比 +6社)
- 会員数 **1,895**人(前年比 +298人)
- ポイント付与数 **14,398**ポイント(前年比 +3,102ポイント)
- ポイント交換数 **4,817**ポイント(前年比 △53ポイント)

※内訳:市民団体への寄付1,189ポイント、六甲山に植樹する苗木293ポイント、フェアトレード商品への交換3,335ポイント

- 六甲山への **11**本
- 植樹本数 ※六甲砂防事務所への寄贈(治山計画に基づく植樹計画への提供)

<ポイント交換のお知らせ>ポイント制度会員の皆さまに、5月上旬頃にポイント残高通知書をお届けします。皆さまが貯めたポイントは1ポイント10円相当で、フェアトレード商品や、市民団体への寄付などに交換可能。ご希望の方は、通知書をご覧のうえ、5月31日(火)までにご申請ください。

皆さまからのお気持ちを切手に換え、寄付先に届けました!

《ご報告》書き損じハガキ回収結果  
過去最高の66社216拠点で回収にご協力いただきました。

ハガキの回収にご協力いただいた従業員の皆さま、「プチプチ点訳体験」にご参加いただいた皆さま、回収箱の設置や従業員への周知にご協力いただいた各社担当者の皆さま、ありがとうございました。(回収期間:2015/12/24~2016/1/29)

大阪YWCA 点字子ども図書室への寄付 **146,750円 相当**  
(回収枚数:ハガキ2,806枚、未使用切手72枚)  
児童書の点訳と点訳児童書の全国無料貸出しなどの活動に役立てられます。



### 阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)

shakai@hankyu-hanshin.co.jp

TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174

URL: <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は**8984**です。



ソーシャルグッズ  
読者プレゼント



5名様  
に  
プレゼント

メモックロールテープ  
フィルムタイプ



資料のマーキングやマスキングテープとしても…。詰め替え用もセットでプレゼント。

自然に還る、環境負荷の  
低いメモテープ

自由な長さで切って使い、貼ってはがせる「メモックロールテープ フィルムタイプ」。テープ部分は植物由来の「生分解性プラスチックフィルム」を使用しています。この素材は土や水に生息している微生物によって水と二酸化炭素に分解され、最終的に自然に還ります。焼却した場合は、一般のプラスチックよりCO<sub>2</sub>排出量が少ないのも特徴です。日常的に出番の多い付箋やメモとして使うだけで、環境に配慮した取り組みに参加できます。

[本体・詰め替えセット]  
価格/本体486円(税込)詰め替え410円(税込)  
サイズ/15mm×10m(2巻入)  
商品ウェブサイト/ヤマト株式会社  
<http://www.yamato.co.jp>

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「テーププレゼント希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切:2016年4月30日(土)

### 編集後記

HP掲載中の口ハズ度チェックシートでは、グループのリサイクルの取組みをご紹介。日常で見かける物にも、意外なりリサイクル素材が使われているかも?ぜひご参加を!(臼杵有紀奈)



「U-30 海辺の清掃ボランティア(P3)」は同年代のグループ従業員と交流を待てるチャンスです!“初めてのボランティア”の方も大歓迎!お気軽にご参加ください!(櫻井満理奈)



### 「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは

「未来にわたり住みたいまち」づくりを目指し、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組み当社グループの社会貢献活動です。



ゴミを拾うのが楽しくなる!

# 魔法!?!のアプリ「ピリカ」



## ゴミ拾いSNS「ピリカ」の使い方

「ピリカ」には「個人版」と「企業団体版」があります。個人で活動に参加するには、下記の手順でアプリをダウンロード。ゴミ拾い体験をみんなで共有しましょう。



### 1.アプリをダウンロード

「App Store」「Google Play」などのアプリストアで「ピリカ」と検索してダウンロード。無料アプリなので料金はかかりません。

### 2.ゴミを見つける

出勤途中や散歩中など、自分の行動範囲の中でポイ捨てゴミを発見!

### 3.ピリカを開く

ピリカを開くとトップに出るのが他のユーザー達がゴミ拾いを報告するタイムライン。ここに「ゴミを拾う」というボタンがあるので選択します。



### 4.ゴミを拾う

ゴミの数や種類を入力するカウント画面に。「撮影する」ボタンを選択すればカメラに切り替わります。

### 5.ゴミを撮影する

拾ったゴミを撮影します。

### 6.写真を共有する

コメントを入力して「投稿」ボタンを選択すれば、投稿完了。タイムラインに自分の撮影した写真とコメントが反映されます。



株式会社ピリカ 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-5-7恵比寿アイマークゲート2F TEL:080-4021-0939  
U R L : <http://corp.pirika.org/>

スタートから約5年、ピリカを通じて拾われるゴミの数は今や2千5百万個を超える。それだけでなく他団体とコラボレーションしてゴミ拾いイベントを開催したり、企業のCSR活動や自治体の地域清掃にピリカが活用されたり...

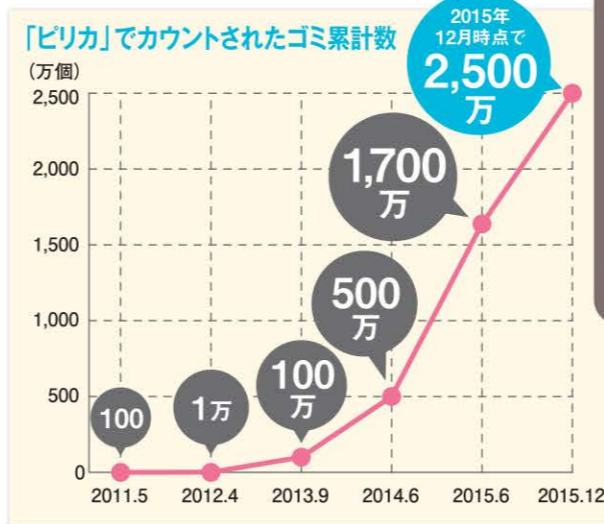
「地球からポイ捨てゴミをなくす」ために

道に落ちていたポイ捨てゴミ。気になるけれど、拾うのもちょっと...という人も多いだろう。そんな躊躇や気恥ずかしさを、行動に変えてくれるのが「ピリカ」というアプリ。拾ったゴミをスマートフォンで撮影し、SNSで共有するという斬新でユニークなサービスだ。

「地球からポイ捨てゴミをなくす」ために、スタートから約5年、ピリカを通じて拾われるゴミの数は今や2千5百万個を超える。それだけでなく他団体とコラボレーションしてゴミ拾いイベントを開催したり、企業のCSR活動や自治体の地域清掃にピリカが活用されたり...



「ゴミを拾って決してマジョリティの行動ではないので、情報共有がモチベーションになるのですね」と、小嶋さんはピリカの人気を分析する



「ピリカ」のトップページ。名前はアイヌ語で「美しい」という意味のこと

世界77カ国で利用される話題のアプリ

SNSを活用した画期的なアイデアによって、「ゴミ拾いが楽しい」「コミュニケーションに変わる...そんなスマホアプリがある。名前は「ピリカ」。多くのメディアに取り上げられ、ユーザーは世界中に広がっている。

道に落ちていたポイ捨てゴミ。気になるけれど、拾うのもちょっと...という人も多いだろう。そんな躊躇や気恥ずかしさを、行動に変えてくれるのが「ピリカ」というアプリ。拾ったゴミをスマートフォンで撮影し、SNSで共有するという斬新でユニークなサービスだ。

使い方はいたって簡単。アプリをダウンロードして画面を開けば「ゴミを拾う」「ゴミを撮影する」「コメントして投稿する」といったステップがわかりやすく示され、迷うことはない。自分の行動が記録できると共に、投稿はタイムラインに反映され、他のユーザーと、成果を分かち合う仕組み。ピリカのタイムラインを見ていると、刻々と報告がアップされ「今この瞬間にもどこかでゴミを拾っている人がいるんだな」と感じる事ができる。孤独になりがちな行為を、人とつながる楽しさに変えてくれるのだ。

「ゴミ拾いを通してつながりを創出するという試みは多くの共感を呼び、今やダウンロード数は4万以上。世界各地にも広がっている。」

開発のきっかけは「大きな問題と戦いたい」との思い

アプリを開発・運営する「株式会社ピリカ」の代表取締役、小嶋不二夫さんが環境問題に関心を持ったのは何と小学校2年生の時。「図書館にあった、地球の環境問題シリーズという本に夢中になりました。小学生ですからヒーローにも憧れていて、いつか地球を救うために大きな敵と戦いたい、なんて思っていました」。小嶋さんが戦うべき相手とようやく出会えたのが大学院生の時。どの環境問題にどのよ



他の団体とコラボレーションして全国各地で開催した「海の日ごみゼロアクション2015」。ピリカで共有されたゴミ拾いの成果は100万個を超えた。

← ゴミ拾いに関心を持ったなら次ページへ!!



# グループ従業員の ボランティア活動レポート

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、阪急阪神ホールディングスが3万円を支援する「ゆめ・まち「ええこと」応援団」。昨年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

2016年度  
vol.1



阪急交通社  
東元 久美さん  
しぶたね  
/大東市

## 頑張る「きょうだい」が 安心できる居場所を。

病気で入院している子の「きょうだい」は、感染予防のため病棟に入れません。病棟の廊下で、面会中の保護者を何時も待つ「きょうだい」達。その気持ちを受け止める場を作りたいと、親御さんを待つ間、遊びながら一緒に過ごすボランティアをしています。最初は緊張している子ども達が徐々にリラックスし、いつも「いい子」で頑張る子が少しでもワガママを言ってくれたりすると、本当に嬉しいです。このように「きょうだい」達が自分の気持ちを安心して話せる愛のあふれる居場所を増やすのが、私達の大切な目標です。

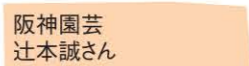


病気の子のきょうだいに向けて活動を行うボランティア団体。大阪市立総合病院センターを中心に活動中です。



大東連合子ども会  
/大阪市

念願のバットを購入でき、子ども達も大喜びで大事に使っています。物の大切さを学ぶ機会になりました。

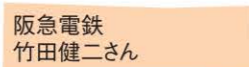


阪神園芸  
辻本誠さん



玉櫛スラッガー  
スポーツ少年団  
/茨木市

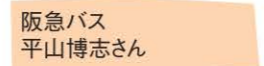
家庭・学校・地域が一体となって青少年を健全な成長へと導くことを目的としています。



阪急電鉄  
竹田健二さん

## FC葦原/茨木市

限られた運営費内での活動は厳しく、支援いただけたおかげで子ども達の活動環境を整えられました。



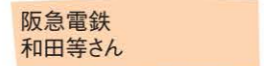
阪急バス  
平山博志さん



阪急不動産  
大熊勝さん

## 日本ボーイスカウト 神戸第37団 /神戸市

一人ひとりが自分の可能性を伸ばすことを目的に様々な野外活動を実施しています。



阪急電鉄  
和田等さん



阪急電鉄  
依藤佐登美さん



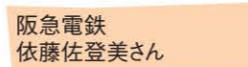
神田ジュニア  
バレーボールクラブ  
/池田市

バレーボールを通してたくさんの子ども達にチームワークの素晴らしさを伝えています。



藤原台少年  
軟式野球クラブ  
/神戸市

存続の危機もありましたが、継続したご支援により部員数も増えて安定した野球クラブに。



阪急電鉄  
依藤佐登美さん

# ゆめ・まちU-30 海辺の清掃ボランティア

アンダーサーティ

若手、集まれ〜!  
参加者募集!

この春、グループの若手従業員を対象としたソーシャルイベントを開催します。自分達で綺麗にした海辺で行うBBQなど、清掃後の楽しみコンテンツも盛りだくさん。

業務では交流のない同世代のグループ従業員と知り合うきっかけにも!  
1日限定、参加無料のソーシャルイベントにぜひご参加ください。

※U-30(30歳未満)と銘打っていますが、気持ちがU-30の方も大歓迎です!

## 当日のプログラム

### 1 海辺の清掃活動

参加者を複数のチームに分け、海岸に落ちているゴミを拾います。拾ったゴミの数を競い合い、優勝チームには賞品を贈呈!



### 2 清掃した海辺でのお楽しみイベント

清掃してきれいになった海辺で、思いきり体を動かして、汗をかきましょう。



### 3 汚さないバーベキュー

近年、問題になっているバーベキューの炭ゴミ問題※について、浜を守る地元のNPOから学んだ後、親睦会を兼ねたバーベキューを開催。もちろん「汚さない」を合言葉に片付けまできちんと行います。  
※バーベキューの炭ゴミが「砂に還る」という誤った認識で砂浜に埋められてしまい、汚染の原因になっています。



新しい  
発見・出会い

清掃後は  
海辺でBBQ!

参加者には  
ゆめ・まち  
Tシャツも!

社会貢献ポイント  
1Opt進呈

## ゆめ・まちU-30 海辺の清掃ボランティア

5月21日(土)  
10:00~13:30

※雨天時は22日(日)に延期

- 定員・参加費  
30名(先着順)・  
無料(昼食つき)
- 集合  
9:30 阪神「香櫛園駅」
- 協力  
NPO法人チーム御前浜・香櫛園浜 里浜づくり  
御前浜・香櫛園浜の環境保全、活性化活動を行う団体。ゆめ・まち基金第1回助成先。



場所:御前浜・香櫛園浜  
(兵庫県西宮市)

## お問合せ・お申込み

件名を「清掃ボランティア申込み」とし、本文に「所属会社・部署名」、「参加者名(フリガナ)」、「携帯電話番号」を明記のうえ5月9日(月)までに、メールでお申し込みください。



阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局  
(阪急阪神ホールディングス株)  
人事総務室 総務部 社会貢献担当)

TEL 06-6373-5086  
E-Mail shakai@hankyu-hanshin.co.jp

## 「ゆめ・まち「ええこと」応援団」

2016年度応募受付中! 2016年5月31日(火)締切

グループ従業員・OBの皆さまが携わる地域の「ええこと(=ボランティア)」を支援することで、「未来にわたり住みたいまち」づくりを応援します。

従業員・OBが活動する  
ボランティア団体を3万円まで支援!

「地域環境づくり」  
「次世代の育成」の活動資金に!

※1団体あたり3万円上限(総額100万円まで、応募多数時は抽選)※事務局による審査を経て、7月中旬までに結果をご連絡します。  
※団体ご代表と当社グループ従業員・OB連名で申請書に記入・捺印のうえ、ゆめ・まちプロジェクト事務局まで原本をご送付ください。

申請書のダウンロード・詳細はwebで <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/point.html>

(「ユーザー名」、「パスワード」は8984)



series  
60

## 震災から20年あまり。 一面のシバザクラで「あの日」を次の世代にも。

阪神・淡路大震災により仁川百合野町で起こった大規模な地すべり。現在、その跡地がシバザクラの名所になっていることをご存じだろうか。荒廃していた地すべり跡地にシバザクラを植栽し、定期的手入れをして毎年鮮やかな花を咲かせているのは、地域住民を中心に結成されたボランティアグループ「ゆりの会」である。「もともとは地すべりで埋没した住宅跡に、前代表を中心とする近隣の方々がコスモスを植えたのが始まりです。震災の傷跡を花で癒す…その行動に一人また一人と賛同者が増え、会員数は現在70余名にもなりました」と語るのは、同会代表の郷上さん。

しかし実のところ、シバザクラの生育維持には苦労が絶えない。年間を通じて草取りや水やりが必要で、イノシシに荒らされることもあるため、人手も費用もかかるのだ。しかも、土地が斜面になっているので機械が使用できず、平らな花壇に比べると作業が何倍もハードなのだという。「ゆりの会」のメンバーは高齢者が多く、担い手の不足は切実な問題だ。

「それでも毎年シバザクラを咲かせ続けたい」と同会副代表の岩城さんは強く訴える。「34名もの尊い命が失われたあの日の記憶を、私たちは未来に伝えていなくてはなりません。」そのため、同会では次世代に向けた広報活動にも熱心だ。震災から20年の昨年1月には、校区の中学校であの日の記憶を語った。「彼らは、自分が生まれる前に起こった悲しい出来事を知

て衝撃を受けたようですね。翌日、170名もの中学生が自主的に草取りのボランティアに参加してくれました。あつという間にきれいにしてくれて、若い力のありがたさを知りました。」震災で失われた命を悼み、命の尊さに想いを馳せる…そんな人々の祈りが植物にも伝わるせいか、仁川のシバザクラには胸を打つ美しさがある。毎年4月頃の開花シーズンには多くの観光客が訪れるそうだ。



校区の中学校の「トライやる・ウィーク」を受け入れ、子ども達との交流が生まれた。シバザクラの手入れは、地域の絆づくりにも一役買っているようだ。

### ボランティアグループ 「ゆりの会」

活動に参加いただける方を募集しています。作業日は毎月第1土・日、第2・第4火・水、いずれも9～11時(雨天中止)。集合は地すべり資料館前にて。お電話にてお問合せください。

TEL: 090-3056-0013(郷上) 0798-52-2322(岩城)



咲くたびに  
いのちの尊さを  
思い出す。



手も、絆も、  
つなぎ直せる。

series  
59

## 虐待に傷つく子どもも、悩む親も見守って…。 もう一度家族をつなげるプログラム。

約8万8千件。これは2014年度の児童虐待に関する相談件数。親が子どもに身体的、心理的な虐待を加える…これほど悲しいことはない。保護された子どもは親との面会を禁止または制限され、一応の安全は保証されるものの、最も近い存在に否定された記憶は、その子の人生に深い影を落としてしまう。子どもの回復には親子関係の再構築が必要だが、それは大変難しい。「チャイルド・リソース・センター(CRC)」は、虐待の再発防止と親子の関係回復という難題に取り組む団体である。

代表の宮口智恵さんは、もと児童福祉司。虐待の現場を経験する中で「保護した後の支援の必要性」を実感していたという。「児童相談所では虐待された子どもの保護が最優先でしたが、「ママのところへ帰りたい」「どうしたら子どもを返してくれるの?」という声も。虐待の再発を防ぎ、親が子どもにとって安心な存在となるには?その答えを模索する日々でした。」

そんな時、宮口さんはカナダのNPOが行う、虐待再発防止プログラムに出会った。「親子が交流する時間にスタッフが寄り添い、親と子どもの両方に働きかけることで、関係改善への一歩を後押しするのです。当時の日本にはなかった斬新な取り組みで、これだ、と確信しました。」このプログラムを日本の現状に合うようアレンジ。職権で子どもを保護した児童相談所に対し、心を閉ざす親もいるため、民間の立場で支援を始めようと2007年にCRCを立ち上げた。

CRCの親子プログラムは、虐待によって離れてしまった親子

の絆を、ていねいにつなぎ直す試みである。親自身の悩みや苦しみを聞いて、支える場所があることを伝える。親子の交流時間をスタッフが見守り、少しずつコミュニケーションをサポートしていきながら、子どもにとって一番良い親子関係を親と一緒に時間をかけて考えていく。開始後8年間で、参加した親子は約200名。驚くことに約3割が再び一緒に暮らせるようになったという。「このプログラムを受けなければ今頃、子どもとどう過ごしていたかわからない」「つらい状況から抜け出すのは一人では無理だった」という声が、活動の成果を物語っている。



プログラムの運営にはノウハウがあるスタッフが不可欠。助成金はスタッフの育成等に使われる。

### 特定非営利活動法人 チャイルド・リソース・センター

活動を通して、親と子どもの成長発達をご支援くださる方を募集しています。また、親子支援や親理解についての講演・研修も行っています。興味のある方はウェブサイトをご覧ください。電話でお問合せください。

住所: 〒554-0012 大阪市此花区西九条2-6-8-301

TEL: 06-6463-1788

メールフォーム: childrc@nifty.com

URL: http://homepage3.nifty.com/childrc/